

## 在宅医療提供体制に関する実態・意識調査について

## 1 調査趣旨

- (1) 医療・介護関係機関の実施可能な機能の現状や在宅医療に対する意向、医療・介護連携に対する現状などを把握し、医療・介護のさらなる連携強化に寄与することを目指す
- (2) 新潟県、新潟市および新潟県医師会、新潟県県内各郡市医師会の在宅医療推進、在宅医療・介護連携推進に係る取組みの経年指標として活用する

## 2 調査対象 県内の医療・介護事業所 約 4,350 件

(参考：令和2年6月1日現在事業所数)

	診療所	歯科	病院	訪問看護	薬局	居宅介護	計
新潟県	1,129	1,157	125	150	1,034	741	4,336
うち新潟市	511	491	44	65	443	268	1,822
(新潟市割合)	45.3%	42.4%	35.2%	43.3%	42.8%	36.0%	42.0%

## 3 調査実施期間 令和2年11月4日～令和2年11月18日

(調査基準日：令和2年10月1日)

## 4 スケジュール(予定)

- 9月25日(金)まで 調査票に関する意見集約・修正
- 10月1日～31日 調査票発送作業(業者委託)
- 11月4日～18日 調査期間
- 11月19日～12月下旬 データ回収・集計・成果品納入
- 1月上旬～2月中 調査結果分析、調査報告書完成

## 5 実施主体

新潟県(福祉保健部医務薬事課)

新潟県医師会(在宅医療推進センター)

新潟市(地域医療推進課、在宅医療・介護連携センター)

# 病院調査票

## 在宅医療提供体制に関する実態・意識調査

(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、病院名が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆地域連携部門の方からの回答をお願いします。
  - ◆本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

### 問1. 貴院の基本情報について、伺います。

1-1 病院名  部署名

職種  記入者名

1-2 開設年(西暦)  年  月

1-3 所在地について、当てはまる市町村の番号を○で囲んでください。

下越圏域	1 新発田市	2 村上市	3 関川村	4 粟島浦村
	5 胎内市	6 聖籠町		
新潟圏域	7 新潟市北区	8 新潟市東区	9 新潟市中央区	10 新潟市江南区
	11 新潟市秋葉区	12 新潟市南区	13 新潟市西区	14 新潟市西蒲区
	15 五泉市	16 阿賀野市	17 阿賀町	
県央圏域	18 三条市	19 燕市	20 弥彦村	21 加茂市
	22 田上町			
中越圏域	23 長岡市	24 出雲崎町	25 見附市	26 柏崎市
	27 刈羽村			
魚沼圏域	28 小千谷市	29 十日町市	30 魚沼市	31 南魚沼市
	32 湯沢町	33 津南町		
上越圏域	34 上越市	35 糸魚川市	36 妙高市	
佐渡圏域	37 佐渡市			

1-4 標榜診療科目について、当てはまる番号を○で囲んでください。(複数選択可)

1 内科	2 外科	3 小児科	4 産婦人科	5 耳鼻咽喉科	6 皮膚科
7 泌尿器科	8 整形外科	9 眼科	10 脳神経外科	11 神経内科	12 心療内科
13 精神科	14 麻酔科	15 放射線科	16 形成外科	17 アレルギー科	
18 リハビリテーション科	19 その他 ( )				

1-5 在宅療養支援病院の届出について、当てはまる番号を○で囲んでください。

1 届出をしている                      2 届出をしていない



問4. 訪問診療や往診で対応可能な疾患をお選びください（複数選択可）。

- |                  |        |       |         |
|------------------|--------|-------|---------|
| 1 循環器/呼吸器/消化器系疾患 | 2 認知症  | 3 糖尿病 | 4 脳血管疾患 |
| 5 整形外科疾患         | 6 精神疾患 | 7 がん  | 8 神経難病等 |

問5. 訪問診療や往診を行っている患者の実人数、訪問延べ回数を数字でご記入下さい。

ここ1年間におけるひと月あたりの平均人数、件数

患者宅	実人数	約		人	延べ件数	約		件
患者宅以外※	実人数	約		人	延べ件数	約		件

※患者宅以外；サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など訪問診療料の算定が可能な施設（配置医としての特別養護老人ホームでの診察は含まない）

問6. 今後、訪問診療や往診の患者をどのくらい増やすことが可能ですか。

- |           |  |   |            |
|-----------|--|---|------------|
| 1 ひと月あたり約 |  | 件 | 2 増やすことは困難 |
|-----------|--|---|------------|

問7. 入退院支援が必要な患者のスクリーニングを行っていますか。（診療報酬上の加算算定有無は問いません。）

- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| 1 全入院患者に実施 | 2 必要時に実施 | 3 行っていない |
|------------|----------|----------|

問8. 入退院支援の開始時期をお答えください。

- |            |                |                 |
|------------|----------------|-----------------|
| 1 入院後7日以内  | 2 患者・家族からの希望時  | 3 ケアマネジャーからの依頼時 |
| 4 退院が決まった時 | 5 地域の入退院ルールに沿う | 6 その他           |

問9. これまでに在宅ケア担当者を招集して退院前カンファレンスを開きましたか。

- |                      |                     |                    |               |
|----------------------|---------------------|--------------------|---------------|
| 1 大半の事例ですべてい<br>ると思う | 2 半数程度はできている<br>と思う | 3 あまりできていないと<br>思う | 4 全くできていないと思う |
|----------------------|---------------------|--------------------|---------------|

ここ1年間におけるひと月あたりの開催件数は（ ）件

問10. 退院前カンファレンスやサービス担当者会議の充実のために何が重要だと思いますか。3つまで選択して下さい。

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1 参加職種の多様化（医師、歯科医師等）         | 2 患者及び家族の参加                   |
| 3 退院日まで余裕を持った開催時期の配慮         | 4 情報の事前準備                     |
| 5 参加者のコミュニケーション力の向上          | 6 進行役のファシリテート力の向上             |
| 7 病院関係者が在宅生活や介護サービスの理解を深める   | 8 在宅サービス関係者が病院医療に関する理解を深める    |
| 9 事例によっては急な招集でも対応してくれる事業者の配慮 | 10 参加しやすい仕組み整備（オンラインミーティングなど） |
| 11 その他（                      | ）                             |

問11. 退院する患者が円滑に在宅医療に移行できていると思いますか。

- 1 大半の事例でできていると思う      2 半数程度はできていると思う      3 あまりできていないと思う      4 全くできていないと思う

問12. 地域で訪問診療や往診を行っている患者やその対応にあたる訪問看護等の専門職に対し、常時連絡がとれる体制をとっていますか。(診療報酬上の加算算定有無は問いません。)

- 1 基本的に常時対応している(訪問・電話等)      2 診療時間内であれば対応している      3 条件による      4 基本的に時間外は対応していない

時間外でファーストコール対応している職員は誰ですか  
医療相談員・社会福祉士・看護師・  
その他 ( )

対応の条件があれば記入して下さい  
( )

問13. 地域で訪問診療や往診を受けている患者の急変時に、スムーズに入院の受け入れができていますか。

- 1 大半の事例でできていると思う      2 半数程度はできていると思う      3 あまりできていないと思う      4 全くできていないと思う

問14. 入院の受け入れ体制についてお聞きます。

- 1 自院で在宅医療に特化した受入体制を整備している

体制の名称 \_\_\_\_\_ ここ1年間におけるひと月あたり利用件数 約 \_\_\_\_\_ 件

- 2 地域の仕組み、あるいは複数の病院で在宅医療に特化した受入体制を整備しており、参画している

仕組みの名称 \_\_\_\_\_ ここ1年間におけるひと月あたり利用件数 約 \_\_\_\_\_ 件

- 3 随時対応している

- 4 その他 ( )

- 5 特になし

問15. 地域のICT連携システム※を利用していますか。

※ICT連携システムとは、在宅医療には、診療所・訪問看護・訪問介護・後方支援病院等の在宅医療を提供する多職種  
の連携が必要であることから、コンピュータ等の情報伝達技術を活用して情報共有等を行うために構築されたシステムのこと。

- 1 利用している

- 2 地域にICT連携システムはあるが利用していない

- 3 地域にICT連携システムがない

- 4 ICT連携システムについて知らない

●今後の意向は  
( 継続したい ・ やめたい )  
●利用しているシステムの名称  
( )

今後の意向は  
( 利用したい ・ 利用しない )



(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、事業所が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆実際に診療を行っている医師のうち、貴院を代表できる方（診療科は問いません）からの回答をお願いします。
  - ◆本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

問1. 貴診療所の基本情報について、伺います。

1-1 診療所名  記入者名

1-2 開設年（西暦）  年  月

1-3 所在地について、当てはまる市町村の番号を○で囲んで下さい。

下越圏域	1 新発田市	2 村上市	3 関川村	4 粟島浦村
	5 胎内市	6 聖籠町		
新潟圏域	7 新潟市北区	8 新潟市東区	9 新潟市中央区	10 新潟市江南区
	11 新潟市秋葉区	12 新潟市南区	13 新潟市西区	14 新潟市西蒲区
	15 五泉市	16 阿賀野市	17 阿賀町	
県央圏域	18 三条市	19 燕市	20 弥彦村	21 加茂市
	22 田上町			
中越圏域	23 長岡市	24 出雲崎町	25 見附市	26 柏崎市
	27 刈羽村			
魚沼圏域	28 小千谷市	29 十日町市	30 魚沼市	31 南魚沼市
	32 湯沢町	33 津南町		
上越圏域	34 上越市	35 糸魚川市	36 妙高市	
佐渡圏域	37 佐渡市			

1-4 主な診療科目について、当てはまる番号を○で囲んで下さい。（複数選択可）

1 内科	2 外科	3 小児科	4 産婦人科	5 耳鼻咽喉科	6 皮膚科
7 泌尿器科	8 整形外科	9 眼科	10 脳神経外科	11 神経内科	12 心療内科
13 精神科	14 麻酔科	15 放射線科	16 形成外科	17 アレルギー科	
18 リハビリテーション科	19 その他（				）

1-5 在宅療養支援診療所の届出について、当てはまる番号を○で囲んで下さい。

1 届出をしている	2 届出をしていない
-----------	------------

問2. 訪問診療の実施状況や今後の予定について、伺います。

訪問診療とは、主治医が計画を立て、患者の自宅等※を定期的に訪問し診察をすることを指し、往診とは、その都度、患者に呼ばれて訪問し診察を行うことを指すものとする。

※自宅等；サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など訪問診療料の算定が可能な施設を含む。（配置医としての特別養護老人ホームでの診察は含まない）

2-1 現在、訪問診療や往診を行っていますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

- |                    |               |             |             |
|--------------------|---------------|-------------|-------------|
| 1 訪問診療と往診の両方を行っている | 2 訪問診療のみ行っている | 3 往診のみ行っている | 4 現在は行っていない |
|--------------------|---------------|-------------|-------------|

2-2 今後（5年後）、訪問診療または往診を行っていると思いますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

- |                    |               |             |          |
|--------------------|---------------|-------------|----------|
| 1 訪問診療と往診の両方を行っている | 2 訪問診療のみ行っている | 3 往診のみ行っている | 4 行っていない |
|--------------------|---------------|-------------|----------|

2-3 今後新たに訪問診療等を行う、または提供件数を増やすには何が必要と思いますか。必要性が高いと思われるものを3つまで選択して下さい。

- |                            |                  |                    |
|----------------------------|------------------|--------------------|
| 1 自院の医師増員                  | 2 自院の医師以外のスタッフ増員 | 3 在宅医療を行う他の診療所との連携 |
| 4 在宅医療を行う歯科診療所/歯科医療連携室との連携 | 5 薬局との連携         |                    |
| 6 訪問看護ステーションとの連携           | 7 病院との連携         | 8 ケアマネジャーとの連携      |
| 9 患者家族への周知、需要とニーズ発掘        |                  |                    |
| 10 現行報酬の引上げ、加算要件緩和等        |                  |                    |
| 11 その他（                    |                  | ）                  |

以降、問3～20の質問は、訪問診療や往診を行っている診療所のみお答えください。

それ以外の診療所は、6ページ問21,22の回答をお願いします。

問3. 訪問診療や往診を担当している医師について、伺います。

担当医の人数	人	1人目の年齢	歳
		2人目の年齢	歳
		3人目の年齢	歳

問4. 訪問診療や往診で対応可能な疾患をお選びください（複数選択可）。

- |                  |        |       |         |
|------------------|--------|-------|---------|
| 1 循環器/呼吸器/消化器系疾患 | 2 認知症  | 3 糖尿病 | 4 脳血管疾患 |
| 5 整形外科疾患         | 6 精神疾患 | 7 がん  | 8 神経難病等 |

問5. 訪問診療や往診を行っている患者の実人数、訪問延べ回数を数字でご記入下さい。

ここ1年間におけるひと月あたりの平均人数、件数

患者宅	実人数	約	人	延べ件数	約	件
患者宅以外※	実人数	約	人	延べ件数	約	件

※患者宅以外；サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など訪問診療料の算定が可能な施設（配置医としての特別養護老人ホームでの診察は含まない）





問13. 問12で入院が必要な場合の初動において、頻度の高い手段を1つ選択して下さい。

1 自院で在宅医療に特化した受入体制を整備している

体制の名称

ここ1年間におけるひと月あたり利用件数

約

件

2 地域の仕組み、あるいは複数の病院で在宅医療に特化した受入体制を整備しており、参画している

仕組みの名称

ここ1年間におけるひと月あたり利用件数

約

件

3 自ら病院へ直接電話し、入院先を探す

4 救急車を要請する

5 事前に病院主治医と取り決めをしている

4 その他 (

)

問14. 自宅等※1での看取り※2に対する意向について、一つ選択して下さい。

※1 自宅等とは、患者宅のほか、サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など訪問診療料の算定が可能な施設を含むものとし、配置医としての特別養護老人ホームは除く。

※2 ここでいう看取りとは、本人家族・関係者間で事前に終末期対応について相談し対応準備をしていた場合のことを指し、急死等で検死対応例は対象としない。

1 看取り患者の受入を増やすことは可能

2 現状維持は可能

3 今後は件数を減らした  
と思う

4 看取り対応は行っていない

問15. ここ1年間に、自宅等で看取りを行った概ねの人数を記入して下さい。

約 人

問16. ここ1年間に、自宅等での看取りを行った場所の割合を記入して下さい。

患者の自宅

約

%

サービス付高齢者向け住宅

約

%

認知症対応型共同生活介護

約

%

小規模多機能型居宅介護

約

%

その他1 (

)

約

%

その他2 (

)

約

%

問17. 地域のICT連携システム※を利用していますか。

※ICT連携システムとは、在宅医療には、診療所・訪問看護・訪問介護・後方支援病院等の在宅医療を提供する多職種  
の連携が必要であることから、コンピュータ等の情報伝達技術を活用して情報共有等を行うために構築されたシステムのこと。

1 利用している

2 地域にICT連携システムはあるが利用していない

3 地域にICT連携システムがない

4 ICT連携システムについて知らない

●今後の意向は  
( 継続したい ・ やめたい )

●利用しているシステムの名称

今後の意向は

( 利用したい ・ 利用しない )



(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、事業所が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆実際に診療を行っている歯科医師のうち、貴院を代表できる方からの回答をお願いします。
  - ◆本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

問1. 貴診療所の基本情報について、伺います。

1-1 診療所名

職種

記入者名

1-3 所在地について、当てはまる市町村の番号を○で囲んでください。

下越圏域	1 新発田市 5 胎内市	2 村上市 6 聖籠町	3 関川村	4 粟島浦村
新潟圏域	7 新潟市北区 11 新潟市秋葉区 15 五泉市	8 新潟市東区 12 新潟市南区 16 阿賀野市	9 新潟市中央区 13 新潟市西区 17 阿賀町	10 新潟市江南区 14 新潟市西蒲区
県央圏域	18 三条市 22 田上町	19 燕市	20 弥彦村	21 加茂市
中越圏域	23 長岡市 27 刈羽村	24 出雲崎町	25 見附市	26 柏崎市
魚沼圏域	28 小千谷市 32 湯沢町	29 十日町市 33 津南町	30 魚沼市	31 南魚沼市
上越圏域	34 上越市	35 糸魚川市	36 妙高市	
佐渡圏域	37 佐渡市			

問2. 歯科訪問診療の実施状況や今後の予定について、伺います。

歯科訪問診療とは、主治医が計画を立て、患者の自宅等※を定期的に訪問し診察をすることを指し、往診とは、その都度、患者に呼ばれて訪問し診察を行うことを指すものとする。  
 ※自宅等；サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など訪問診療料の算定が可能な施設を含む。(配置医としての特別養護老人ホームでの診察は含まない)

2-1 現在、歯科訪問診療や往診を行っていますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

1 訪問歯科診療と往診 の両方を行っている	2 訪問歯科診療のみ 行っている	3 往診のみ行っている	4 現在は行っていない
--------------------------	---------------------	-------------	-------------

2-2 今後（5年後）、歯科訪問診療または往診を行っていると思いますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

1 歯科訪問診療と往診 の両方を行っている	2 歯科訪問診療のみ 行っている	3 往診のみ行っている	4 行っていない
--------------------------	---------------------	-------------	----------

2-3 今後新たに歯科訪問診療等を行う、または提供件数を増やすには何が必要と思いますか。必要性が高いと思われるものを3つまで選択して下さい。

1 自院の歯科医師増員	2 自院の歯科医師以外のスタッフ増員
3 他の歯科診療所との連携	4 在宅歯科医療連携室との連携
5 在宅医療を行う医科診療所との連携	6 訪問看護ステーションとの連携
7 病院との連携	8 ケアマネジャーとの連携
9 患者家族への周知、需要とニーズ発掘	10 現行報酬の引上げ、加算要件緩和等
11 その他 (	)

以降、問3～12の質問は、歯科訪問診療や往診を行っている診療所のみお答えください。それ以外の診療所は、問13から回答をお願いします。

問3. 歯科訪問診療や往診を担当している医師について、伺います。

担当医の人数	人	1人目の年齢	歳
		2人目の年齢	歳
		3人目の年齢	歳

問4. 歯科訪問診療や往診を行っている患者の実人数、訪問延べ回数を数字でご記入下さい。

ここ1年間におけるひと月あたりの人数、件数

患者宅	実人数	約	人	延べ件数	約	件
患者宅以外※	実人数	約	人	延べ件数	約	件

※患者宅以外；サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など訪問診療料の算定が可能な施設（配置医としての特別養護老人ホームでの診察は含まない）

問5. 今後、訪問診療や往診の患者をどのくらい増やすことが可能ですか。

1 ひと月あたり約	件	2 増やすことは困難
-----------	---	------------

問6. これまでに病院が行う退院前カンファレンス、ケアマネジャーが行うサービス担当者会議への出席要請がありましたか。

1 要請があった →	①出席していますか（基本的に出席している・条件による・出席は困難）
	②ここ1年間における出席実績（年10回以上・年に数回・年1～2回）
2 要請はなかった →	要請があれば出席したいと思いますか（基本的に出席したい・出席は困難）

問7. 退院前カンファレンスやサービス担当者会議の充実のために何が必要だと思いますか。3つまで選択して下さい。

1 参加職種の多様化（医師、歯科医師等）	2 患者及び家族の参加
3 退院日まで余裕を持った開催時期の配慮	4 情報の事前準備
5 参加者のコミュニケーション力の向上	6 進行役のファシリテート力の向上
7 病院関係者が在宅生活や介護サービスの理解を深める	8 在宅サービス関係者が病院医療に関する理解を深める
9 事例によっては急な招集でも対応してくれる事業者の配慮	10 参加しやすい仕組み整備（オンラインミーティングなど）
11 その他 (	)

問8. 退院する患者が円滑に在宅医療に移行できていると思いますか。

- 1 大半の事例でできていると思う      2 半数程度はできていると思う      3 あまりできていないと思う      4 全くできていないと思う

問9. 歯科訪問診療や往診を行っている患者やその対応にあたる訪問看護等の専門職に対し、常時連絡がとれる体制をとっていますか。(診療報酬上の加算算定有無は問いません。)

- 1 基本的に常時対応している(訪問・電話等)      2 診療時間内であれば対応している      3 条件による      4 基本的に時間外は対応していない

時間外でファーストコール対応している職員は誰ですか  
 歯科医師・自院歯科衛生士・  
 その他 ( )

対応の条件があれば記入して下さい  
 [ ]

問10. 歯科訪問診療や往診を行っている患者に対し、急変時の対応方法をケアチーム間で共有できていますか。

- 1 大半の事例でできていると思う      2 半数程度はできていると思う      3 あまりできていないと思う      4 全くできていないと思う

問11. 歯科訪問診療や往診を行っている患者の急変時に入院が必要な場合、スムーズに入院できていると思いますか。

- 1 大半の事例でできていると思う      2 半数程度はできていると思う      3 あまりできていないと思う      4 全くできていないと思う

問12. 問11で入院が必要な場合の初動において、頻度の高い手段を1つ選択して下さい。

1 地域の仕組み、あるいは複数の病院で在宅医療に特化した受入体制を整備しており、利用している

仕組みの名称 [ ]      ここ1年間におけるひと月あたり利用件数    約 [ ] 件

2 在宅医療に特化した受入体制を整備している病院を利用している

(可能なら病院名) [ ]      ここ1年間におけるひと月あたり利用件数    約 [ ] 件

- 3 自ら病院へ直接電話し、入院先を探す  
 4 救急車を要請する  
 5 事前に病院主治医と取り決めをしている  
 4 その他 ( )

問13. 地域のICT連携システム※を利用していますか。

※ICT連携システムとは、在宅医療には、診療所・訪問看護・訪問介護・後方支援病院等の在宅医療を提供する多職種  
 の連携が必要であることから、コンピュータ等の情報伝達技術を活用して情報共有等を行うために構築されたシステムのこと。

- 1 利用している      2 地域にICT連携システムはあるが利用していない      3 地域にICT連携システムがない      4 ICT連携システムについて知らない

●今後の意向は  
 ( 継続したい ・ やめたい )  
 ●利用しているシステムの名称  
 [ ]

今後の意向は  
 ( 利用したい ・ 利用しない )



(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、事業所が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆薬剤師の方からの回答をお願いします。
  - ◆居宅療養管理指導等とは、在宅患者訪問薬剤管理指導を含むものとしてご回答下さい。
  - ◆本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

問1. 貴局の基本情報について、伺います。

1-1 薬局名  記入者名

1-2 開設年(西暦)  年  月

1-3 所在地について、当てはまる市町村の番号を○で囲んでください。

下越圏域	1 新発田市	2 村上市	3 関川村	4 粟島浦村
	5 胎内市	6 聖籠町		
新潟圏域	7 新潟市北区	8 新潟市東区	9 新潟市中央区	10 新潟市江南区
	11 新潟市秋葉区	12 新潟市南区	13 新潟市西区	14 新潟市西蒲区
	15 五泉市	16 阿賀野市	17 阿賀町	
県央圏域	18 三条市	19 燕市	20 弥彦村	21 加茂市
	22 田上町			
中越圏域	23 長岡市	24 出雲崎町	25 見附市	26 柏崎市
	27 刈羽村			
魚沼圏域	28 小千谷市	29 十日町市	30 魚沼市	31 南魚沼市
	32 湯沢町	33 津南町		
上越圏域	34 上越市	35 糸魚川市	36 妙高市	
佐渡圏域	37 佐渡市			

1-4 居宅療養管理指導等の届出について、当てはまる番号を○で囲んでください。

1 届出をしている	2 届出をしていない
-----------	------------

問2. 居宅療養管理指導等の実施状況や今後の予定について、伺います。

2-1 現在、居宅療養管理指導等を行っていますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

1 行っている	2 行っていないが、今後行う予定	3 現在行っていない
---------	------------------	------------

2-2 今後(5年後)、居宅療養管理指導等を行っていますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

1 行っている	2 行っていない
---------	----------



2-3 今後新たに居宅療養管理指導等を行う、または提供件数を増やすには何が必要と思いますか。  
必要性が高いと思われるものを3つまで選択して下さい。

- |                     |                     |                  |
|---------------------|---------------------|------------------|
| 1 自院の薬剤師増員          | 2 自院の薬剤師以外のスタッフ増員   | 3 ほかの薬局との連携      |
| 4 病院薬剤師・薬局薬剤師間の連携   |                     | 5 在宅医療を行う診療所との連携 |
| 6 訪問看護ステーションとの連携    | 7 病院との連携            | 8 ケアマネジャーとの連携    |
| 9 患者家族への周知・需要とニーズ発掘 | 10 現行報酬の引上げ・加算要件緩和等 |                  |
| 11 その他 ( )          |                     |                  |

以降、問3～15の質問は、居宅療養管理指導等を行っている薬局のみお答えください。

それ以外の薬局は、4ページ問16, 17の回答をお願いします。

問3. 居宅療養管理指導等を担当している職員の人数をご記入下さい。

職員数            人

問4. 居宅療養管理指導等を行っている患者の実人数、訪問延べ回数を数字でご記入下さい。

ここ1年間におけるひと月当たりの人数、件数

患者宅	実人数	約 <u>          </u> 人	延べ件数	約 <u>          </u> 件
患者宅以外※	実人数	約 <u>          </u> 人	延べ件数	約 <u>          </u> 件

※患者宅以外；サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護など  
訪問診療料の算定が可能な施設（配置医としての特別養護老人ホームでの診察は含まない）

問5. 今後、居宅療養管理指導等の患者をどのくらい増やすことが可能ですか。

1 ひと月あたり約            件      2 増やすことは困難

問6. これまでに病院が行う退院前カンファレンス、ケアマネジャーが行うサービス担当者会議への出席要請がありましたか。

1 要請があった → ①出席していますか（基本的に出席している・条件による・出席は困難）

②ここ1年間における出席実績（年10回以上・年に数回・年1～2回）

2 要請はなかった → 要請があれば出席したいと思いますか（基本的に出席したい・出席は困難）

問7. 退院前カンファレンスやサービス担当者会議の充実のために何が必要だと思いますか。3つまで選択して下さい。

- |                              |                               |
|------------------------------|-------------------------------|
| 1 参加職種の多様化（医師、歯科医師等）         | 2 患者及び家族の参加                   |
| 3 退院日まで余裕を持った開催時期の配慮         | 4 情報の事前準備                     |
| 5 参加者のコミュニケーション力の向上          | 6 進行役のファシリテート力の向上             |
| 7 病院関係者が在宅生活や介護サービスの理解を深める   | 8 在宅サービス関係者が病院医療に関する理解を深める    |
| 9 事例によっては急な招集でも対応してくれる事業者の配慮 | 10 参加しやすい仕組み整備（オンラインミーティングなど） |
| 11 その他 ( )                   |                               |



問14. ICT連携システム以外に、地域で連携等に活用しているツール（例、新潟市：むすびあい手帳等）がありますか。

1 ある → 名称（ ）

2 ない

問15. 地域のICT連携システムのより効果的な活用のために、必要と思われることがあればご記入下さい。

問16. 地域の日常療養支援に関する課題は何とご思いますか。最も当てはまるものを3つまで選択して下さい。

1在宅医療に関わる医師、歯科医師、薬局、訪問看護師、ケアマネジャー、介護職等専門職の人員不足

2在宅医療に関わる診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所等の基盤整備

3地域の目指す姿、目標、課題等の協議の不足

4療養手帳やICTを活用した事業者間の情報共有

5在宅医療・介護連携に関する相談支援体制の整備

6病院関係者の意識や知識・技術向上

7 診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護等在宅医療提供者の意識や知識・技術向上

8介護職の意識や知識・技術向上

9地域住民への在宅医療に関する普及啓発

10医療圏を意識した市町村間の広域連携

11 その他（ ）

問17. 在宅医療全般に関して、ご意見等がございましたらお書きください。

(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、事業所が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆管理者の方からの回答をお願いします。
  - ◆本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

問1. 貴事業所の基本情報について、伺います。

1-1 事業所  記入者名

1-2 開設年(西暦)  年  月

1-3 所在地について、当てはまる市町村の番号を○で囲んでください。

下越圏域	1 新発田市	2 村上市	3 関川村	4 粟島浦村
	5 胎内市	6 聖籠町		
新潟圏域	7 新潟市北区	8 新潟市東区	9 新潟市中央区	10 新潟市江南区
	11 新潟市秋葉区	12 新潟市南区	13 新潟市西区	14 新潟市西蒲区
	15 五泉市	16 阿賀野市	17 阿賀町	
県央圏域	18 三条市	19 燕市	20 弥彦村	21 加茂市
	22 田上町			
中越圏域	23 長岡市	24 出雲崎町	25 見附市	26 柏崎市
	27 刈羽村			
魚沼圏域	28 小千谷市	29 十日町市	30 魚沼市	31 南魚沼市
	32 湯沢町	33 津南町		
上越圏域	34 上越市	35 糸魚川市	36 妙高市	
佐渡圏域	37 佐渡市			

1-4 以下の加算の中で、届出しているもの全て○で囲んで下さい。

1 緊急時訪問看護加算(介護保険)	2 24時間対応体制加算(医療保険)	
3 機能強化型 1	4 機能強化型 2	5 機能強化型 3

1-5 職員の常勤換算数を数字でご記入下さい。

看護師  人      リハビリ  人      事務職  人  
 その他(  )  人      その他(  )  人

問2. 訪問看護を行っている患者の実人数、訪問延べ回数を数字でご記入下さい。

ここ1年間におけるひと月あたりの平均人数、件数

介護保険	実人数	約 <input type="text"/> 人	延べ件数	約 <input type="text"/> 件
医療保険	実人数	約 <input type="text"/> 人	延べ件数	約 <input type="text"/> 件



問10. 訪問看護利用者の急変時に入院が必要な場合、スムーズに入院できていると思いますか。

- 1 大半の事例でできていると思う
- 2 半数程度はできていると思う
- 3 あまりできていないと思う
- 4 全くできていないと思う

問11. ここ1年間に、自宅等※1で看取り※2を行った概ねの人数を記入して下さい。

※1 患者宅のほか、サービス付高齢者向け住宅・認知症対応型共同生活介護・小規模多機能型居宅介護等の介護保険施設において医療保険の訪問看護療養費を算定できる利用者を含むものとする。  
 ※2 ここでいう看取りとは、本人家族・関係者間で事前に終末期対応について相談していた利用者が、自宅等及び病院入院後24時間以内に死亡した場合を対象とする。ターミナルケア加算等算定の有無は問わない。

約  人

問12. 自宅等での看取りに対する意向について、1つ選択して下さい。

- 1 受入人数を増やす又は受入を始めることが可能
- 2 現状維持は可能
- 3 今後は件数を減らしたと思う
- 4 看取り対応は行っておらず、今後も予定はない

問13. ここ1年間に、自宅等での看取りを行った場所の割合を記入して下さい。

患者の自宅 約  %      サービス付高齢者向け住宅 約  %  
 認知症対応型共同生活介護 約  %      小規模多機能型居宅介護 約  %  
 その他1 (  ) 約  %  
 その他2 (  ) 約  %

問14. 地域のICT連携システム※を利用していますか。

※ICT連携システムとは、在宅医療には、診療所・訪問看護・訪問介護・後方支援病院等の在宅医療を提供する多職種の連携が必要であることから、コンピュータ等の情報伝達技術を活用して情報共有等を行うために構築されたシステムのこと。

- 1 利用している
- 2 地域にICT連携システムはあるが利用していない
- 3 地域にICT連携システムがない
- 4 ICT連携システムについて知らない

●今後の意向は  
 ( 継続したい ・ やめたい )  
 ●利用しているシステムの名称  
 (  )

●今後の意向は  
 ( 利用したい ・ 利用しない )

問15. 在宅医療と介護の連携において、地域のICT連携システムは有効だと思いますか。

- 1 とても有効である
- 2 有効である
- 3 あまり有効でない
- 4 有効でない

問16. ICT連携システム以外に、地域で連携に活用しているツール（例 新潟市;むすびあい手帳等）がありますか。

- 1 ある → 名称（）
- 2 ない

問17. 地域のICT連携システムのより効果的な活用のために、必要と思われることがあればご記入下さい。

問18. 地域の在宅医療に関する課題は何とご思いますか。最も当てはまるものを3つまで選択して下さい。

- 1 在宅医療に関わる医師、歯科医師、薬局、訪問看護師、ケアマネジャー、介護職等専門職の人員不足
- 2 在宅医療に関わる診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護事業所等の基盤整備
- 3 地域の目指す姿、目標、課題等の協議の不足
- 4 療養手帳やICTを活用した事業者間の情報共有
- 5 在宅医療・介護連携に関する相談支援体制の整備
- 6 病院関係者の意識や知識・技術向上
- 7 診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護等在宅医療提供者の意識や知識・技術向上
- 8 介護職の意識や知識・技術向上
- 9 地域住民への在宅医療に関する普及啓発
- 10 医療圏を意識した市町村間の広域連携
- 11 その他（）

問19. 在宅医療全般に関して、ご意見等がございましたらお書きください。

# 居宅介護支援事業所調査票

## 在宅医療提供体制に関する実態・意識調査

(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、事業所が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆ 管理者の方からの回答をお願いします。
  - ◆ 本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆ 該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

### 問1. 貴事業所の基本情報について、伺います。

1-1 事業所名

職種

記入者名

1-2 所在地について、当てはまる市町村の番号を○で囲んで下さい。

下越圏域	1 新発田市	2 村上市	3 関川村	4 粟島浦村
	5 胎内市	6 聖籠町		
新潟圏域	7 新潟市北区	8 新潟市東区	9 新潟市中央区	10 新潟市江南区
	11 新潟市秋葉区	12 新潟市南区	13 新潟市西区	14 新潟市西蒲区
	15 五泉市	16 阿賀野市	17 阿賀町	
県央圏域	18 三条市	19 燕市	20 弥彦村	21 加茂市
	22 田上町			
中越圏域	23 長岡市	24 出雲崎町	25 見附市	26 柏崎市
	27 刈羽村			
魚沼圏域	28 小千谷市	29 十日町市	30 魚沼市	31 南魚沼市
	32 湯沢町	33 津南町		
上越圏域	34 上越市	35 糸魚川市	36 妙高市	
佐渡圏域	37 佐渡市			

1-4 特定事業所加算について、当てはまる番号を○で囲んで下さい。

1 (Ⅰ) を算定している	2 (Ⅱ) を算定している	3 (Ⅲ) を算定している	4 (Ⅳ) を算定している	5 いずれも算定していない
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

1-5 主任介護支援専門員と介護支援専門員の人数を数字でご記入下さい。

主任介護支援専門員 <input style="width: 50px;" type="text"/> 人	介護支援専門員 <input style="width: 50px;" type="text"/> 人
---	---





問4. 在宅医療を受けている患者の急変時の対応について、伺います。

4-1 在宅医療を受けている患者に24時間対応を行っていますか。（診療報酬上の加算算定有無は問いません。）

1 基本的に常時対応している（訪問・電話等）

2 条件による

3 基本的に対応していない

対応の条件があれば記入して下さい

4-2 急変時の対応方法をケアチーム間で共有できていますか。

1 大半の事例でできていると思う

2 半数程度はできていると思う

3 あまりできていないと思う

4 全くできていないと思う

4-3 急変時に入院が必要な場合、スムーズに入院できていると思いますか。

1 大半の事例でできていると思う

2 半数程度はできていると思う

3 あまりできていないと思う

4 全くできていないと思う

問5. 看取り※ について、お伺いします。

※ここでいう看取りとは、本人家族・関係者間で事前に終末期対応について相談し対応準備をしていた場合のことを指し、急死等で検死対応例は対象としない。

5-1 看取りのケアマネジメントに対する意向について、一つ選択して下さい。

1 対応可能

2 対応困難

3 どちらとも言えない

5-2 ここ1年間に、看取り対応を行った概ねの人数を選択して下さい。

約  人

問6. 地域のICT連携システム※について、伺います。

※ICT連携システムとは、在宅医療には、診療所・訪問看護・訪問介護・後方支援病院等の在宅医療を提供する多職種の連携が必要であることから、コンピュータ等の情報伝達技術を活用して情報共有等を行うために構築されたシステムのこと。

6-1 地域のICT連携システムを利用していますか。

1 利用している

2 地域にICT連携システムはあるが利用していない

3 地域にICT連携システムがない

4 ICT連携システムについて知らない

●今後の意向は  
( 継続したい ・ やめたい )

●利用しているシステムの名称

今後の意向は  
( 利用したい ・ 利用しない )



個人票

在宅医療提供体制に関する実態・意識調査

(回答に際してのお願い) この調査は統計的に処理し、事業所・個人が特定できる状態で公表は致しません。

- ◆ 本年7月1日現在の状況についてお答えください。
  - ◆ 該当する番号を○で囲む、数字を記入する等、各問の案内に沿ってご記入ください。
- その他を選択した場合は内容をご記入下さい。

問1. あなたの現在の職種の番号を、1つ○で囲んで下さい。

- 病院勤務 → 1 医師    2 病棟看護師    3 連携部門看護師    4 ソーシャルワーカー    5 事務
- 診療所勤務 → 6 医師    7 歯科医師    8 看護師    9 歯科衛生士    10 ソーシャルワーカー
- 11 薬局薬剤師
- 12 訪問看護師
- 13 介護支援専門員

問2. あなたの現在の勤務部門・事業所での勤続年数を1つ○で囲んで下さい。

- 1 1年未満                      2 1～5年未満                      3 5～10年未満                      4 10年以上

問3. あなたは他の医療機関や介護事業所との間で、患者情報をどの程度やり取りしていますか。

太枠の中に、それぞれ◎、○、△、×のいずれかを記入して下さい。

◎;週に数回    ○;月に数回    △;適宜    ×;なし

病院	診療所	歯科診療所	薬局
訪問看護ステーション	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	地域包括支援センター	訪問介護事業所 (ヘルパー)
介護事業所 (デイサービス、 ショートステイ、特養等)			

問4. あなたは他の医療機関や介護事業所との協力・連携について、どの程度できていると思いますか。

太枠の中に、それぞれ◎、○、△、×のいずれかを記入して下さい。

◎;必要な協力・連携ができている    ○;ある程度できているがやや課題がある  
△;あまりしていないが今後はしたい    ×;あまりしておらず、その必要性も高くない

病院	診療所	歯科診療所	薬局
訪問看護ステーション	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	地域包括支援センター	訪問介護事業所 (ヘルパー)
介護事業所 (デイサービス、 ショートステイ、特養等)			

問5. 患者や家族に対して、あるいはケアチーム間で、ACP※（アドバンスケアプランニング）を意識した関わりを持っていますか。当てはまる番号を1つ○で囲んで下さい。

※ACPとは、今後の治療・療養について患者・家族等と医療・介護関係者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのこと。患者の同意のもと、話し合いの結果が記述され、定期的に見直され、ケアに関わる人々の間で共有されることが望ましい。そして、ACPの話し合いには次の内容が含まれる。・患者本人の気がかりや意向 ・患者の価値観や目標 ・病状や予後の理解 ・医療や療養に関する意向や選好、その提供体制等

1 ACPを意識した関わり  
を持っている

2 ACPを意識した関わり  
を持っていない

3 ACPを知らない

**ACPを意識した関わりを持っている方にお聞きます**

①必要な情報はケアチーム内で共有できていると思いますか。1つ選択して下さい。

1 大半の事例で  
できていると思う

2 半数程度は  
できていると思う

3 あまりできてい  
ないと思う

4 全くできてい  
ないと思う

②ケアチーム間で共有している場合の方法を選んで下さい（複数選択可）。

1 退院前カンファレンス・サービス担当者会議等

2 介護サービス計画書（ケアプラン）

3 主治医意見書

4 地域で導入しているツール（むすびあい手帳、療養手帳、ICT、緊急時情報シート等）

5 その他（

）

問6. 人生の最終段階における本人の意向を尊重した医療の充実に何が必要と思いますか。最もあてはまるものを2つまで選択してください。

1 医療・介護従事者への教育・研修

2 本人・家族等への相談体制の充実

3 疾病の有無に関わらず、人生の最終段階における医療について考えるための情報提供

4 人生の最終段階について話し合った内容の共有

5 その他（

）

問7. 新潟県内の郡市医師会では、在宅医療推進センター等の名称で在宅医療の推進に向けた事業を実施しています。以下の質問にお答えください。

7-1 地域で在宅医療推進センターが行う講演会や研修会等に参加したことがありますか。

1 参加したことがある

2 参加したことがない

3 センターがあることを知らなかった

7-2 郡市医師会在宅医療推進センターに特に力を入れて取り組んでほしいことがありますか。（複数選択可）

1 地域の在宅医療提供体制  
構築に向けた取組

2 住民に向けた在宅医療普及  
啓発

3 在宅医療の人材育成

4 その他（

）

問 8 . 市町村では、在宅医療・介護連携推進事業を主として実施している窓口（在宅医療・介護連携センター等の名称）を運営（委託/直営）しています。以下の質問にお答えください。

8-1 地域で在宅医療・介護連携支援センター行う講演会や研修会等に参加したことがありますか。

- 1 参加したことがある                      2 参加したことがない                      3 センターがあることを知らなかった

8-2 市町村在宅医療・介護連携支援センターに特に力を入れて取り組んでほしいことがありますか。  
(複数選択可)

- 1 地域の医療・介護情報の提供                      2 医療・介護関係者の情報共有支援                      3 在宅医療・介護連携に関する相談支援

- 4 医療・介護関係者の研修                      5 地域住民への普及啓発                      6 近隣市町村との連携

7 その他 ( )

問 9 . あなたが職務を行う地域での状況についての質問です。

あなたご自身について、①～⑫それぞれ最もあてはまる欄に 1 つ ○ を記入して下さい。

		そう思う	少し思う	どちらでもない	あまりそう思わない	そう思わない
Ⅰ 他の施設の 関係者と やりとり	① 患者（利用者）と一緒にみている他の施設の関係者に知りたいことを気軽にきける					
	② 一緒にみている患者（利用者）のことで連絡をとるときに、躊躇（ちゆうちよ）せずに連絡ができる					
	③ 一緒にみている患者（利用者）のことで連絡のとりやすい時間や方法が分かる					
Ⅱ 地域の他の 職種の役割	④ 患者（利用者）に関わる地域の他の職種の困っていることがだいたいわかる					
	⑤ 患者（利用者）に関わる自分以外の職種の動き方が実感をもってわかる					
	⑥ 患者（利用者）に関わる自分以外の職種の出来ることがわかる					
Ⅲ 地域の関係 者の名前と 顔・考え方	⑦ 地域で患者（利用者）に関わっている人の、名前と顔、考え方や方針がわかる					
	⑧ 地域で患者（利用者）に関わっている施設の理念や事情がわかる					
	⑨ 地域で患者（利用者）に関わっている人の、性格、つきあい方がわかる					
Ⅳ 地域の多職 種で話し合 う機会	⑩ 患者（利用者）に関わるいろいろな職種が直接会って話す機会がある					
	⑪ 普段交流のない多職種で話し、新しい視点や知り合いを得る機会がある					
	⑫ 地域連携に関して、課題や困っていることを共有し話し合う機会がある					

		そう 思う	少し そう 思う	どちら でも ない	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない
V 地域の相談 できるネット ワーク	⑬ 患者（利用者）に関わることで、気軽に相談できる人がいる					
	⑭ 患者（利用者）に関わることで困ったことは、誰に聞けばいいのかだいたいわかる					
	⑮ 患者（利用者）に関わることで困ったときには、まず電話してみようと思う人がいる					
VI 地域のリソ ース（資源）	⑯ 患者（利用者）が利用できる地域の介護サービスがわかる					
	⑰ 患者（利用者）が利用できる地域の医療資源やサービスがわかる					
	⑱ 利用できる地域の医療資源やサービスについて具体的に患者（利用者）や家族に説明できる					
VII 病院と地域 の連携	⑲ 退院や入院のときに、相手がどんな情報を必要としているかを考えて申し送りしたり、情報提供を行ったりしている					
	⑳ 在宅（施設）に移行する患者（利用者）については、退院時にカンファレンスや情報共有をしっかりと行っている					
	㉑ 退院する患者（利用者）について、急に容体が変わったときの対応や連絡先を決めている					

出典：福井小紀子（大阪大学） 在宅医療介護従事者における顔の見える関係評価尺度の適切性の検討，日本在宅医学会誌，16（1），5-11,2014.

問10. あなたは自身の仕事に満足感を感じていますか。1つ選択して下さい。

1 感じている

2 やや感じている

3 あまり感じていない

4 感じていない